

平成29年3月14日

特定保健用食品部会員各位

公益財団法人 日本健康・栄養食品協会  
特定保健用食品部

### 平成29年度 特定保健用食品部専門部会参加者募集のお知らせ

当協会の特定保健用食品部には、部会員による専門部会活動の組織として「技術部会」と「コミュニケーション部会」、「特定保健用食品広告部会」（「広告部会」）があり、活動テーマごとにワーキンググループ（WG）を編成し、調査・研究・検討・意見交換等を行っております。

部会活動は、当協会会議室において、約1～2ヵ月に1度のペースで会合を持ち、その検討結果は、講習会で発表するとともに、部会活動報告書「特定保健用食品のあり方」としてまとめています。

また、各部会合同の中間報告会、意見交換会などを年に1～2度行い、部会間の連携を図るとともに、トクホ制度発展に向けて行政への働きかけや情報発信なども行っております。

平成29年度は、別紙活動を予定しています。また、専門部会活動の一環として、特定保健用食品（トクホ）制度に関連した緊急課題が発生した場合は、プロジェクトチームを編成し、必要な対応を行う予定です。

参加を希望される方は、参加申込書に記入の上、4月7日（金）までに特定保健用食品部宛にメールまたはFAXでお送りください。多くの方の参加をお待ちしております。

#### \* 各部会活動参加にあたってのご注意

- ・専門部会は、当協会特定保健用食品部会員の企業に所属されている方が参加できます。
- ・「技術部会」、「コミュニケーション部会」は、1社から複数名参加できます。
- ・「広告部会」は、当協会特定保健用食品部会員企業のうち、トクホ広告出稿企業の方およびトクホ広告出稿企業より推薦され承認された企業の方のみが参加できます。1社から1名参加できます。
- ・一人の方が、複数の部会やWGに参加することも可能ですが、それぞれの部会・WG等の会合、事前検討作業等がありますので、無理のない範囲で参加ください。
- ・「技術部会」「コミュニケーション部会」の任期はそれぞれ1年、「広告部会」の任期は2年となっています。
- ・「技術部会」「コミュニケーション部会」「広告部会」につきましては、当協会ホームページに設置運営要項を掲載しておりますので参照ください。

## 別紙

### 【各部会の平成29年度活動予定内容】

#### ○ 技術部会

「技術部会」は、下記WGに分かれて活動するとともに、必要に応じWG内でチームに分かれて活動しています。さらに、緊急課題に対しては、部会あるいはWG内でプロジェクトチームを設置し、フレキシブルに対応する活動を推進しています。今年度は、保健機能食品制度におけるトクホの位置づけをより意識した活動を予定しています。

- 保健の用途拡大検討（WG1）：  
機能性表示食品や海外の制度から参考となる情報を調査し、疾病リスク低減や構造機能表示の可能性を検討するとともに、高齢化社会における保健の用途拡大の実現に向けた活動を行う。
- 制度関連課題検討（WG2）：  
申請区分の整理、審査資料の組み込み順等の申請資料の合理化や、調査会議事録の解析、規制改革会議で提言された情報公開のあり方等を検討することで、制度の運用において改善すべき点の提案へ向けた活動を行う。  
また、平成28年度作成のマニュアル・Q&Aや、規格基準型トクホの拡大のための活動を引き続き行う。
- 安全性評価関連調査・研究（WG3）：  
トクホの安全性評価研究や、機能性表示食品の安全性評価との比較など安全性の考え方を整理し取りまとめ、トクホの安全性に関する提案や情報発信を行う。

#### ○ コミュニケーション部会

「コミュニケーション部会」は、消費者のトクホに対する理解を深め、商品選択や利用が適切に行われることを目的として、トクホの普及・啓発や情報発信に関する検討と活動を行っています。今年度も引き続き、以下の活動を予定しています。

- 「健康増進・食生活改善」の中でトクホが果たすべき役割と正しい情報の検討
- 国や各種団体等が実施した消費者調査結果に基づくトクホの利用実態の解析
- 企業が担うべき消費者教育の在り方と情報発信ツールに関する検討

#### ○ 特定保健用食品広告部会

「広告部会」は、広告表現の適正化と向上を図るため平成25年度に発足しました。トクホが消費者から一層の信頼が得られるよう、今年度も引き続き、以下の活動を予定しています。

- 特定保健用食品広告審査会の運営に関する検討や作業と行政連絡
- 「『特定保健用食品』適正広告自主基準」改定の検討
- トクホ広告宣伝の適正化に関する調査、研究、立案、
- 広告に関する研修会の開催

\* その他、専門部会活動の一環として、トクホ制度に関連した緊急課題が発生した場合は、専門部会毎に検討の上、必要に応じてプロジェクトチームを編成し対応を行う予定です。